



福島で唯一のバナナ栽培の他に、パパイヤやコーヒーの栽培に取り組んでいる施設です。施設内のカフェではバナナの6次化商品を楽しむことができ、バナナ栽培の見学ツアーも行っています。

〈アクセス〉
〒979-0402 広野町下北迫大谷地原58
【車】常磐道 広野ICから5分
【受入時間】9時～16時 ※事前予約必要
【定休日】月(祝日の場合は営業)



hirotopi

〈hiro topi - ヒロトピ - とは〉

自然、産業、イベント、スポーツなど、魅力が盛り沢山の広野町。そんな広野町について、毎号1つのカテゴリーを深掘りしてご紹介！

BANANA

MIKAN

広野町 フルーツ 特集

国産バナナ「綺麗」 誕生の経緯

広野町から離れて暮らす人たちに、「東北でバナナを栽培している町」と故郷に誇りを持ってもらいたいという想いと、バナナでの町おこしを目的に、震災以降使われていなかった、800平方メートルの園芸ハウスを利活用し、栽培がスタートしました。町民の希望となる150株の苗はすくすくと成長し、2019年に初めて収穫を迎えることができました。

国産バナナ「綺麗」とは？
広野町で初めて実ったバナナ「朝陽に輝く水平線」がとても綺麗なみかんの丘のある町のバナナ「愛称Ⅱ「綺麗」は350を超える一般公募の中から選ばれた名称で、広野町の美しい海辺や山並みが綺麗な自然の中で育ったことや、復興への誓いの意味が込められています。小ぶりで皮が薄いのが特徴で、糖度が高く、クリーミーな味わいの品種です。



6次化商品の紹介

トロピカルフルーツミュージアムにて販売中！



バナナジュース



ふたばなクッキー



未来ドーナツ



学園マドレーヌ

みかんの苗が植えられた経緯
冬の気温が10℃を超える、温暖な気候の広野町。町民の方がみかんの苗木を植えて数年後、見事に実がなったことから、昭和60年に町民の方々にみかんの苗木が配布されました。各家庭で大切に育てられたみかんの木は、大粒の実をつけるまでに成長しています。



収穫時期には、
地元の子どもたちによる
収穫体験が行われます！



みかんの丘とは？

広野町役場の
南西、海見える
高台約30アールの
敷地にみかん畑が
あります。冬間近
のころにはオレンジ
色の実をつ
け、鮮やかな景観
を楽しむことが
できます。

みかんの6次化商品開発

震災前、広野中学校の生徒によって、地元で実るみかんを使った、町おこしのアイデアが生まれました。しかし、東日本大震災に見舞われ、実現の道が途絶えてしまいました。その後6年が経ち、アイデアを出した中学生の一人が大学生となり、ふたば未来学園高等学校の授業の講師として、開発した当時の想いを後輩たちへ伝えました。現在ではその想いを引き継いだ後輩たちが、みかんの様々な6次化商品を作り、町をPRしています。



広野みかんタルト

広野みかんサンド

広野みかんオムレット

広野みかんゼリー

広野みかんがっパイ

広野中学校
ふたば未来学園